

大阪城

2023

10/16

(月)

14395
号

全港湾
西成分会

2247
6647
4947

太陽が昇るまでの早朝は、真冬にまでなってきた。気温も25度ぐらいで、日中は一番過ごしやすくなったが、永くは続かないのだらう。岸田政権が統一教会に対し、解散命令を裁判所に請求し、長年にわたる自民党と統一教会との友好関係も変化をおこしているように見えます。全ての万物は流転・変化する……とは、古来からいわれてきていることであり、宇宙・自然・地球・社会・人間・ウイルスまで、全てをつらめく法則でまわります。10/20(金)から始まる国会も、マンネリと思われ、変化の中にも、小さな変化もよく見られる。これは大切なと思われ、アメリカの国会も、下院の議長が決まらう。100年ぶりのことだと、混乱しはじめられています。ウクライナへのカニ・消費金を決定できず、ウクライナは、アメリカの金がなければ負けるといわれています。2年目の冬をむかえる、戦場は悲惨ですが、中東・イスラエルでも戦争がおこり、中東・アラブ全体にも広がりそうな状況になってきています。ユダヤ教・キリスト教・イスラム教という宗教の長年の対立や、逆も根底にあり、火が大きく広がりはじめると、收拾がつかなくなる恐れも生かれています。今年も、2ヶ月半ほどになりました。

「空飛ぶ車」量産は万博開幕に間に合わず 安全認証取得遅れ

2025年大阪・関西万博で運航を予定する「空飛ぶクルマ」をめぐり、「乗客を乗せた『商用運航』に向けた機体量産が、開幕に間に合わない見通しとなっている」と、10月12日、共同通信が報じた。日本国際博覧会協会は、万博で空飛ぶクルマを運航する事業者として4グループを発表しているが、そのうち2つは量産に必要な安全認証取得が遅れ、うちひとつは商用運航を断念。調達できる機体数は、4者とも最大、数機の見込みという。

大阪万博で飛行予定の「空飛ぶクルマ」試験機が墜落事故

英国でeVTOL(電動垂直離着陸機)を開発する企業Vertical Aerospaceが、エアタクシー用として開発中のeVTOL機「VX4」のテザーなしでの試験飛行において墜落事故を起こした。幸いにも無人かつ遠隔操作での試験であったため、怪我人などは出ていない。

VX4は高度約6mという、ごく低い高さからバランスを失って墜落したとのことだが、報道された現場の写真を見る限り、炭素繊維でできた機体の右翼部分が大きく曲がり、機体前方のローターも破損している状況だ。なお、Vertical Aerospaceは日本でも国土交通省によってVX4(VA1-100)の型式証明申請が受理されており、日本航空と丸紅が予約注文済みと伝えられている。これらの機体は2025年大阪万博でエアタクシーとしての運航も予定されているが、今回の事故が万博での飛行に影響するかは不明だ。8/16gadgetgate

まだまだ危なくて誰でも乗せられる段階じゃない、

維新の吉村知事「万博では自転車のように空飛ぶ車に乗ってほしい」とか言っていましたが見本のテスト飛行がせいぜいでしょう。「お金とって営業飛行」になるためにはクリアしないといけないことが山ほどある。